

---

新メカニズム情報プラットフォーム メールマガジン 第134号 (2016年11月17日発行)

---

こんにちは。

新メカニズム情報プラットフォーム事務局です。

---

◇トピックス◇

- 第4回 JCM パートナー国会合を開催しました (環境省)
  - COP22 ジャパンパビリオンにおけるサイドイベントの開催について
- 

◆第4回 JCM パートナー国会合を開催しました (環境省) ◆

11月17日(現地時間16日)、モロッコのマラケシュで開催されている「気候変動に関する国際連合枠組条約締約国会議第22回会合(COP22)」の日本パビリオンで、「第4回 JCM パートナー国会合」を開催しました。

本会合には、山本公一環境大臣と二国間クレジット制度(JCM)のパートナー国(16カ国)の代表者が出席し、JCM クレジットの発行を含む JCM の進捗を歓迎し、引き続き協力して JCM をさらに推進していくことが表明されました。

日本としては、引き続き JCM を着実に実施することで、優れた低炭素技術を活用した地球規模での温暖化対策を推進してまいります。

パートナー国会合の概要はこちらをご覧ください。

⇒ <https://www.env.go.jp/press/103253.html>

---

◆COP22 日本パビリオンにおけるサイドイベントの開催について◆

11月17日(木) 10:30-11:30

「炭素市場プラットフォーム COP22 サイドイベント」

主催/共催: 日本政府/ドイツ政府

2015年のG7エルマウ・サミット首脳宣言に基づき、炭素市場に関する戦略的な対話の場として設立された「炭素市場プラットフォーム」について、ドイツと2016年のG7議長国である日本が共同議長となり、最初の戦略対話として、2016年6月に「炭素市場プラットフォーム第1回戦略対話」を東京で開催した。第1回戦略対話のフォローアップとしてCOP22のサイドイベントを実施するものである。

11月18日（金）15:00-16:30

「JCMの進捗と成果—パリ協定第6条の下での協力的アプローチ」

主催／共催：環境省／海外環境協力センター（OECC）

JCMは国際的な市場メカニズムのひとつとして活発に運用されており、日本とパートナー国（16か国）とが協力して構築、実施してきた。歴史的な合意「パリ協定」の採択—JCMなどの国際協力はパリ協定第6条に位置付けられている。本サイドイベントでは、JCMパートナー国からパネリストを迎え、JCM実施に係る進捗や期待について議論するとともに、環境省からはJCMに係る最新の展望を紹介する。

アジェンダはこちらをご覧ください。

⇒ [http://www.oecc.or.jp/cop22-jp/common/pdf/event/18/03\\_flyer.pdf](http://www.oecc.or.jp/cop22-jp/common/pdf/event/18/03_flyer.pdf)

COP22日本パビリオンにおけるイベントのサマリーや発表資料等はこちらをご覧ください。

⇒ <http://www.oecc.or.jp/cop22-jp/>

---

◆メールマガジン・その他問い合わせは、事務局までメールにてご連絡ください。

[info@mmechanisms.org](mailto:info@mmechanisms.org)

◆メール配信停止ご希望の方は、以下のページの「配信停止」より手続きください。

<http://www.mmechanisms.org/newsletter/index.html>

---

■□発行・編集□■

新メカニズム情報プラットフォーム事務局

一般社団法人海外環境協力センター（OECC）

〒105-0003 東京都港区西新橋3-25-33 NP 御成門ビル3階

URL: <http://www.mmechanisms.org> / e-mail: [info@mmechanisms.org](mailto:info@mmechanisms.org)

---

※このメールの記載内容の無断転載、無断複製を禁じます。